

1 評価項目集計結果より

保護者の皆様からいただいた貴重なご意見・評価結果を真摯に受け止め、今後の学校経営に生かして参ります。それでは以下に、学校としての分析結果をお伝えします。

<成果と課題>

項目	経営の重点 「わかる」「できる」を実感し、自信をもって明るく伸びる、北栄の子を育む
① ⑥ 「子ども」	<p>○「子どもが学校に行くのを楽しみにしている」とたくさんの方が感じてくださっています。学校で行った児童へのアンケートでも、「学校に行くのが楽しみ」と約7割の子が答えています。今後も、全職員で一丸となって、安心・安全で楽しく通うことのできる学校づくりを推進して参ります。</p> <p>▲一方で、約3割の子は学校に行くことを「楽しみ」とまでは思うことができていないという部分にしっかりと目を向け、一人一人に寄り添った指導を心がけて参ります。</p> <p>○あいさつについての項目は、若干ではありますが1回目の結果を上回りました。1・2年生は「元気よく」、3・4年生は「自分から進んで」、5・6年生は「相手にとって気持ちのよい」、というあいさつの目標を大切に、継続した取組を行って参ります。ただ、あいさつは学校だけのものではありませんので、ご家庭でもぜひ日常的にあいさつを大切にしてお過ごしいただければと思います。</p>
⑦ ⑬ 「学校」	<p>○今年度は学校に来て様子を見ていただける場面がほとんどありませんでしたが、「授業づくり」、「豊かな心」など、学校の教育活動について、保護者の皆様方から一定のご理解をいただいていることがわかりました。今後も「知・徳・体」のバランスを大切に、子ども達が自信をもって明るく伸びていくことができるよう、様々な取組を工夫して行って参ります。</p> <p>▲「お子さんの悩みや願いに耳を傾けている」という点では、これまでとは違うコロナ禍の今だからこそ、大人が思ってもいない部分で子ども達が悩みを抱えている場合もあるかもしれません。これまで以上に子ども達一人一人をしっかりと見取ることを心がけ、丁寧な指導に心がけて参ります。</p>
⑭ ⑳ 「家庭」	<p>○家庭に関わる部分の保護者の評価は、1回目同様にとどの項目も大変高い結果となっています。保護者の皆様か学校の教育活動に関心をもち、文書に目を通したり、行事に参加したりということ、意識的に行ってくださっていることに心から感謝申し上げます。今後も、以前とは違った生活が余儀なくされます。どうぞ保護者の皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。</p> <p>▲平日の勉強時間については、「学年×10分」が目標だと言われています。「0分」という回答も一定数ありましたが、1日の生活リズムの中に学習の時間をしっかりと位置付け、リズムのよいメリハリのある生活を心がけたいものです。</p> <p>▲スマホやタブレットを利用する時間については、「高学年になるほど増えていく」というのが実態ではないかというこちらの予想を覆し、低学年でも180分以上というご家庭がありました。望ましい使い方について、繰り返し子ども達と話し合っただければと思います。</p>

2 保護者の皆様の自由記述

◇入学した途端に休校になり親の方が不安でしたが、子ども達は元気よく楽しく学校生活を送ることができました。コロナで沢山する事が増えて、先生方は本当に大変だったと思いますが、そんな中、子ども達の為に色々考えて下さり本当にありがとうございました。

→全ての方が不安な毎日だからこそ、子ども達のためにできることを学校と家庭とで協力して考えていきたいです。

◇自宅ではだらしない息子ですが、学校ではそれなりに頑張っている話を聞くと少し安心します。時には本人の納得いかないこともあるようですが、思い通りにならない経験もとても大切。大事なものは人それぞれの考えは異なる時もあるという点を認め、その摺り合わせをどれだけ上手にしていけるか。という事じゃないかな?と話しています。

◇クラスのお友達の事を楽しそうに話してくれます。入学当初は登校時に泣く事もありましたが、最近は楽しそうに出かけて行く姿を見て嬉しく思います。帰宅後は、すぐに宿題を済ませ明日の時間割、準備と黙々とこなしている所にも成長を感じます。

→様々な経験を積みながら子ども達は育っていくものです。よい経験はもちろん、時には嫌な経験から学ぶこともあります。子ども達の様子をよく見て適切に声をかけてあげながら、成長を認め、自分に自信をもって伸びていく子どもを育てていきたいです。

◇勉強が身についているのか心配です。友達の気持ちを理解しようとする姿が成長したなあと感じます。

→今年は直接顔を合わせる機会がとても少ないですが、勉強面のこと、生活面のこと、気になることはどうぞ遠慮なくご相談ください。

※上記以外にもいろいろなご意見をいただきました。子ども達の指導、教育活動の改善・充実に生かして参ります。